

# クローズアップ インタビュー



瑞宝双光章受章者

杉浦 則男 氏 (70歳)



## 主な経歴

昭和35年4月～ 森初建材店入社  
 昭和35年5月～ 愛知建連技能専門校入校  
 昭和42年～ 杉浦左官として独立  
 昭和54年6月～ 技能検定補佐員に任命される  
 平成元年6月～ 技能検定員に任命される  
 平成15年11月 愛知の名工受章  
 平成20年11月 厚生労働大臣表彰受賞

平成26年秋の叙勲の発表があり、杉浦則男さん(湯山町)が、瑞宝双光章を受章されました。受章の喜びなどについてお聞きしました。

## 受章の感想

ほかにもっと腕のいい人がいるのにといい思いがありますが、受章できたのは、指導をしてくれた方々や、家族、友だちが応援してくれたおかげだと感謝しています。技能検定補佐員10人のうちから2人しか検定員になれないというなかで検定員になり、その後、愛知県左官業組合連合会の理事を2年間務めていることが、認められたのかなと思っています。

## きっかけ

昭和34年9月の伊勢湾台風により高浜市も大きな被害を受けまし

## 苦労

たが、そのとき家屋を修復している左官さんが楽しそうに仕事をしているのを見て、左官になろうと15歳で森初建材店に就職しました。しっかりと勉強をした方がもっといい仕事ができるのではないかといい、仕事を続けながら、名古屋の建設組合連合の専門校に入り、左官の実技と製図も学びました。そして、別の左官店で修行したあと独立し、54年間左官業一筋でこまできました。

若いころ、受験した1級の技能検定で、壁に塗るといふ課題を西三河1位で通過し、愛知県大会に出場しました。しかし、ちよつとしたことから入賞できず、悔しい思いをしました。そこで、また勉強をし直しました。そんな苦労も経て、検定員を25年間務めた現在、検定員の主幹を務めさせていたただいています。

最近では、下地に新しい素材が増え、スペイン漆喰などは樹脂が入っているためコテにくっついてとても塗りにくく、メーカーに聞いてもわからないので、自分なり

## 喜び

に工夫してやっています。  
 やはり自分の納得できる仕事ができ、お客さんに喜んでいただきたときに、この仕事を続けてきてよかったと思います。

また、愛知建連技能専門校に加え今年高浜高等技術専門校の講師も務めています。教え子が検定を受けにきたときに、教えてよかったと実感します。訓練校から1人でも多く左官に育ってくれたらと願っています。

## 今後

湯山町町内会の会長・副会長を務めて、地域とのつながりができました。人と人が出会って話ができれば、プラス志向で考えることができ楽しくなります。

また、高浜市ソフトボール連盟の理事長を9年間務め、刈谷球場での全日本女子ソフトボール大会の審判や愛知県・西三河大会で競技委員長を務めています。

これからの人生を人のため地域のために何かお役に立ちながら、楽しく送ってあげたいと思っています。